

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	5年	
教科等名	図画工作		グループ名	学年	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や見たことなどから表したいことを思い付き、身近な用具を使い、工夫して表現する。 ・作りたい作品を思い付いたり、作品を見て簡単な感想を言ったりすることができる。 ・形や色の面白さについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げる。 				
担当教員	○滝沢 真心 上田 千鶴 風間 康宏 堀口 明				
予定授業時数	71				
使用教科書	のら書店 はじめてのこうさくあそび				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	季節の制作をしよう(春)	○	春をイメージした共同作品(桜、菜の花)、個人作品(こいのぼり)を制作する。	・春をイメージし、素材の色などを選択して作品を作ることができる。	・具体的な写真や絵を提示し、イメージできるようにする。
5	はたらく車を描こう	○	はたらく車の写真や実物を見て、塗り絵や模写をする。	・自分で 用具(色鉛筆やクレヨンなど)を選び、消防車の塗り絵や模写をすることができる。	・写真やタブレット端末で、選ぶ時間を設定したり、いろいろな角度の見本を提示したりする。
6	季節の制作をしよう(梅雨)	○	スタンプングで雨を描いたり、ろくろを使って傘を描いたりして、雨の季節を表現する。	・雨の情景やアジサイの花などをイメージし、雨の季節を感じ、味わいながら描いたり作ったりすることができる。	・写真やタブレット端末で、梅雨の季節のイメージをもたせる。
7	作って遊ぼう	○	ペットボトル空気砲を作って遊ぶ。	・完成をイメージし、手順を理解して取り組むことができる。	・手順表や完成した作品を見せ、完成のイメージをもたせる。
9	紙粘土で作ろう	○	作りたいものをイメージし、粘土で形を作ったり、飾りを付けたりする。	・紙粘土の感触に親しみながら、手指をたくさん動かして作品を作ることができる。	・写真やタブレット端末で作りたいものを見せ、イメージできるようにする。
10	季節の制作をしよう(秋)	○	木片と落ち葉やどんぐりなどを組み合わせ、飾りを作る。	・秋をイメージして落ち葉やどんぐりなどを選び、配置を工夫しながらボンドで貼り付けることができる。	・自然の素材を安全に使用できるように、事前に下処理をして準備する。
11	学習発表会のポスターや看板を作ろう	○	学習発表会のポスター、展示作品の看板や装飾を制作する。	・自分たちが演じる舞台発表の内容や、展示作品についてイメージしながら制作することができる。	・タブレット端末で、舞台発表や展示作品について鑑賞し、イメージをもたせる。
12	季節の制作をしよう(冬)	○	和紙を切ったり、貼ったりして、冬をイメージした作品を作る。	・素材を使って冬の情景やお正月をイメージして作品を制作することができる。	・材料を選択する機会を設け、素材の感触を味わいながら作業できるように促す。
1	墨で描こう(墨絵)	○	墨汁と大小の毛筆を使って干支などを描く。	・墨の濃淡や彩液で色を付けることで、正月の明るい雰囲気表現することができる。	・破れにくい半紙や障子紙を扱う。
2	季節の制作をしよう(桃の節句)	○	ハンガーに毛糸を巻いて着物に見立て、つるしびなを作る。	・寒い季節に合った毛糸の温もりを感じながら、ぐるぐると巻きつけたものを着物に見立て、雛飾りを作ることができる。	・季節の題材をイメージできるように、写真やイラストを提示する。
3	卒業・進級をお祝いしよう(共同作品)	○	お花紙や画用紙を使い、切り絵や、学んできた技法を生かして壁面装飾作品を作る。	・春をイメージして共同作品の制作を行う。友達と協力して一つの作品を作り出す喜びを感じることができる。	・友達と協力し、ダイナミックな作品になることに気を付けるような言葉掛けを行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。